

信濃学園フェンス改修工事

図面リスト

	図番	図面名	SCALE
			A3
意匠図		表紙・図面リスト	
	A-01	特記仕様書-1	----
	A-02	特記仕様書-2	----
	A-03	工事概要・案内図	----
	A-04	改修配置図	1/500
	A-05	改修擁壁詳細図-1	1/30
	A-06	改修擁壁詳細図-2	1/50
	A-07	改修フェンス詳細図-1	1/50
	A-08	改修フェンス詳細図-2	1/50
	A-		
A-			

令和3年 6月

① 材料 [7.1.3]

② 下地調整 [7.2.2~7]

③ 錆止め塗料塗り [7.3.2~3]

④ 塗装

⑤ 断熱・防露改修工事 [9.5.2~3]

⑥ 屋上緑化改修工事 [9.6.1,2,3]

⑦ 透水性アスファルト舗装改修工事 [9.7.2.3.5~9]

⑧ 耐震改修工事

⑨ 環境配慮改修工事 [9.1.1,3~5]

⑩ ガラス改修工事 [9.4.2]

① 材料 [7.1.3]

② 下地調整 [7.2.2~7]

③ 錆止め塗料塗り [7.3.2~3]

④ 塗装

⑤ 断熱・防露改修工事 [9.2.1~3]

⑥ 屋上緑化改修工事 [9.3.2~4]

⑦ 透水性アスファルト舗装改修工事 [9.7.2.3.5~9]

⑧ 耐震改修工事

⑨ 環境配慮改修工事 [9.1.1,3~5]

⑩ ガラス改修工事 [9.4.2]

① 材料 [7.1.3]

② 下地調整 [7.2.2~7]

③ 錆止め塗料塗り [7.3.2~3]

④ 塗装

⑤ 断熱・防露改修工事 [9.5.2~3]

⑥ 屋上緑化改修工事 [9.6.1,2,3]

⑦ 透水性アスファルト舗装改修工事 [9.7.2.3.5~9]

⑧ 耐震改修工事

⑨ 環境配慮改修工事 [9.1.1,3~5]

⑩ ガラス改修工事 [9.4.2]

① 材料 [7.1.3]

② 下地調整 [7.2.2~7]

③ 錆止め塗料塗り [7.3.2~3]

④ 塗装

⑤ 断熱・防露改修工事 [9.5.2~3]

⑥ 屋上緑化改修工事 [9.6.1,2,3]

⑦ 透水性アスファルト舗装改修工事 [9.7.2.3.5~9]

⑧ 耐震改修工事

⑨ 環境配慮改修工事 [9.1.1,3~5]

⑩ ガラス改修工事 [9.4.2]

① 材料 [7.1.3]

② 下地調整 [7.2.2~7]

③ 錆止め塗料塗り [7.3.2~3]

④ 塗装

⑤ 断熱・防露改修工事 [9.5.2~3]

⑥ 屋上緑化改修工事 [9.6.1,2,3]

⑦ 透水性アスファルト舗装改修工事 [9.7.2.3.5~9]

⑧ 耐震改修工事

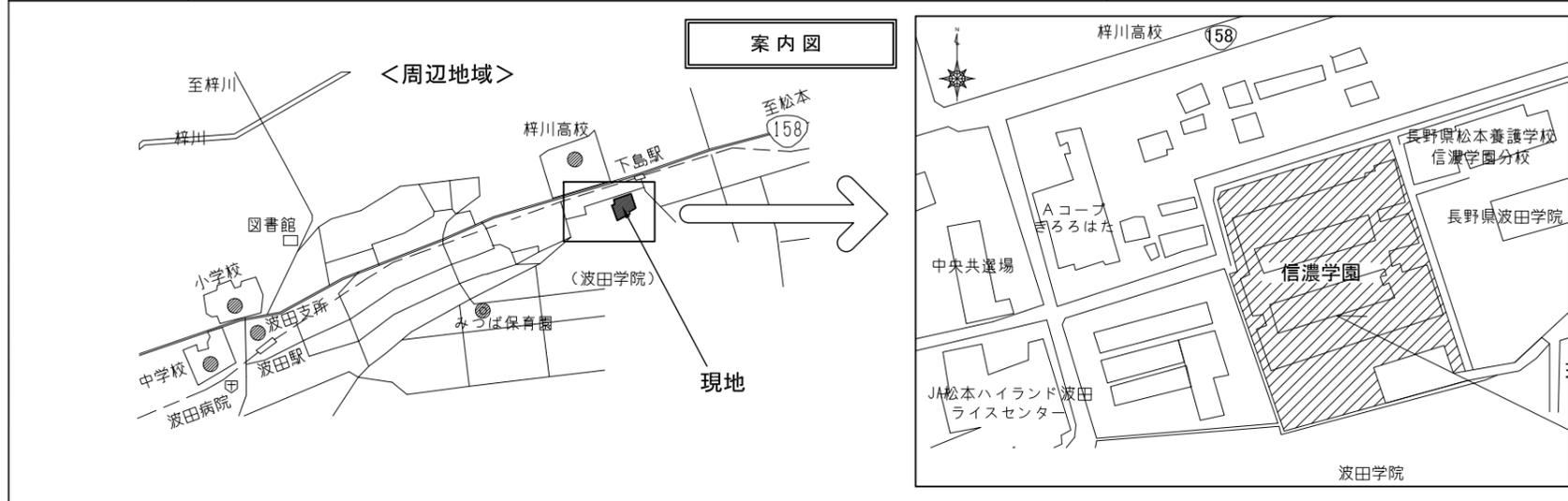
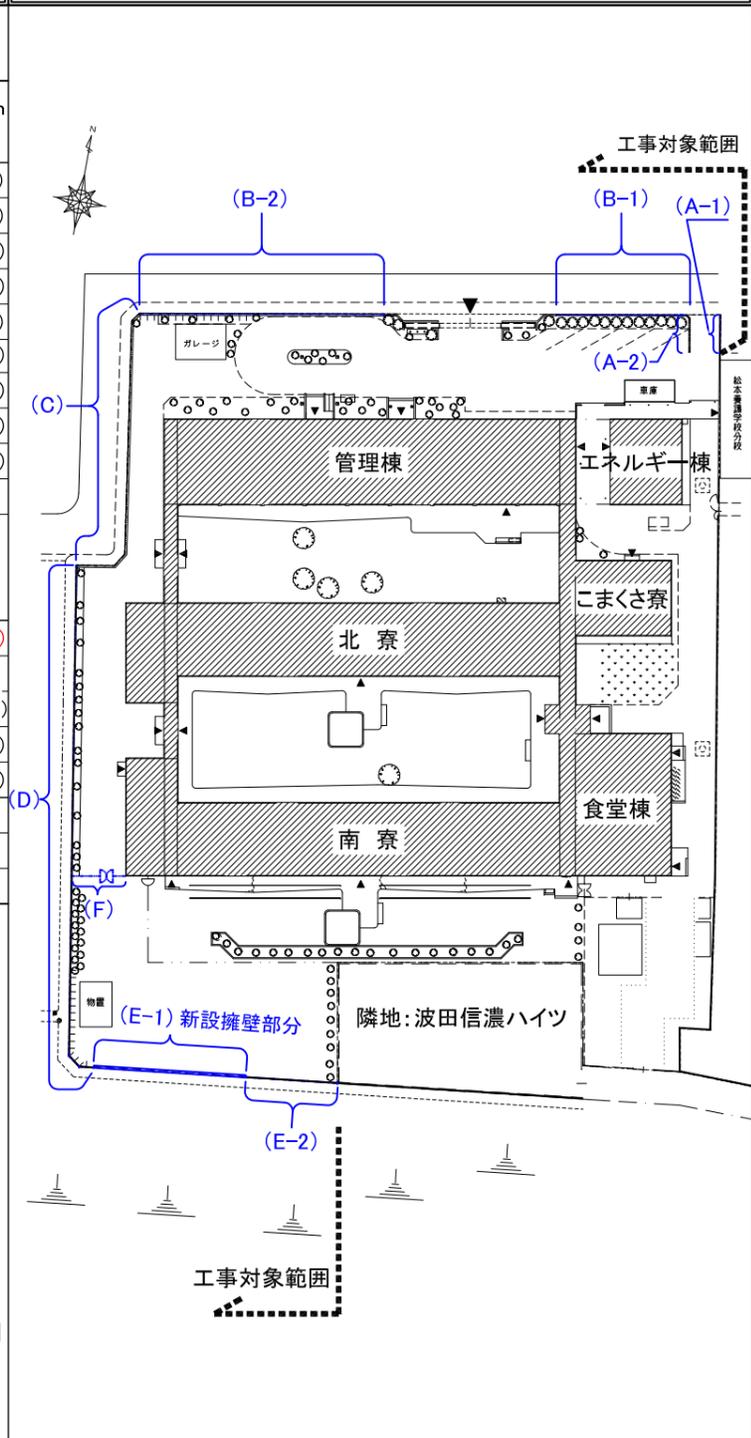
⑨ 環境配慮改修工事 [9.1.1,3~5]

⑩ ガラス改修工事 [9.4.2]

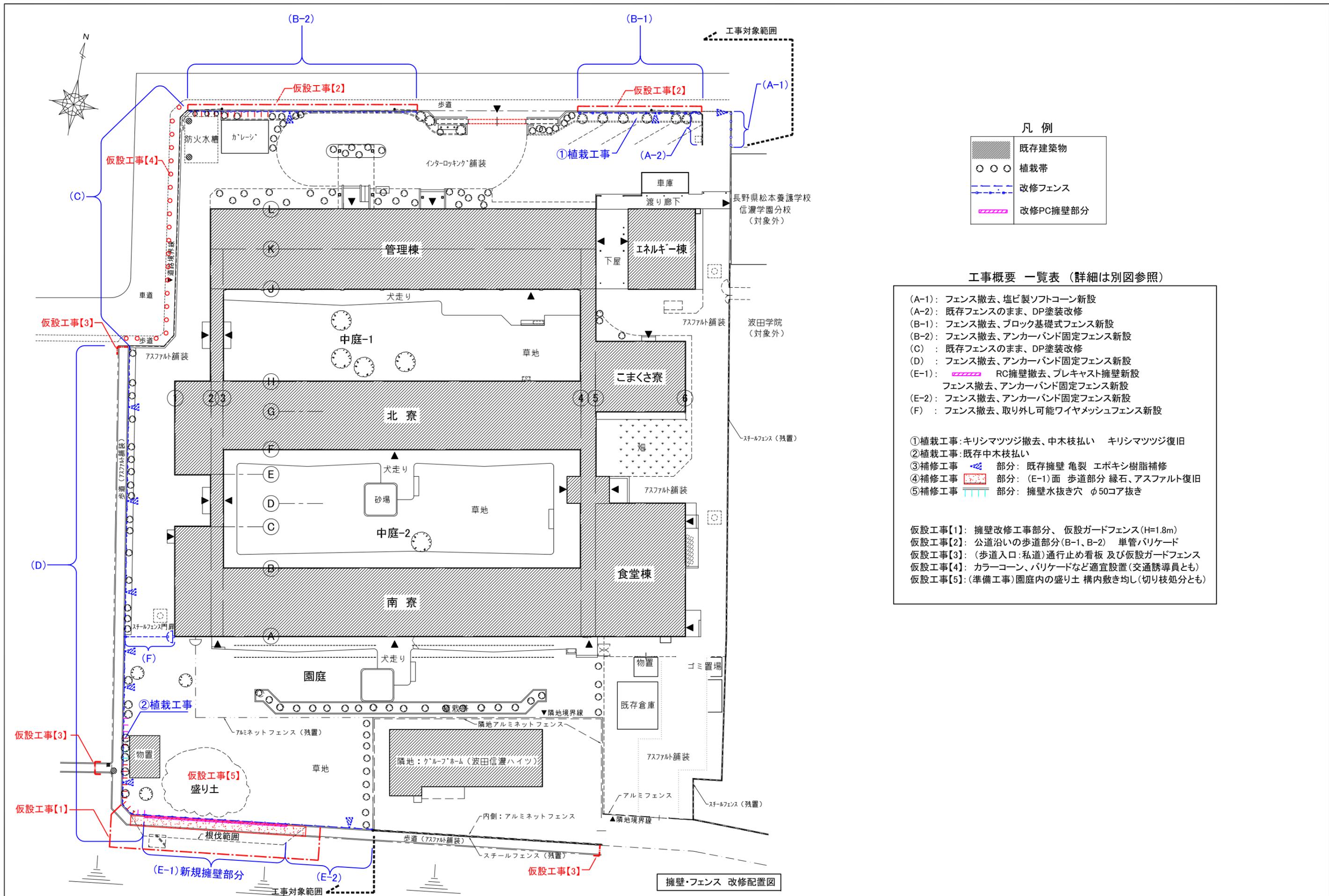
敷地概要	既存建物概要(参考)	摘要
地名地番: 長野県松本市波田4417-8	本棟 床面積: 2596.73 m ² (参考) 全体延床面積: 2716.73 m ² (参考)	※ 改修工事全般について 1) 入所者が生活しているため、作業範囲の限定・騒音作業(AM9:00~PM3:00)限定とする。また土日作業は基本的にしないこととする。 2) 軽微な補修・修繕などは本工事の範囲内とする。雑草など茂っている範囲も除去など含めて工事範囲内とする。 3) 再利用可能な仕上材は監督員と協議の上、再利用も考慮する。(植栽の移植など) 4) 新設フェンスや既存フェンスとの取り合いは現場合わせとする。また必要に応じての現場溶接は、監督員と協議を行い 周囲を覆って施工すること。 5) 公道に面するフェンス設置工事における歩道使用について関係諸官公庁と事前協議のこと。 6) フェンス工事は可能な限り、新設アンカーバンド式フェンスを先行取り付けし、その後 既存フェンスを撤去して最後に取り付けを補修すること。 7) 構内の支障となる樹木は部分的な枝払いは可とする。(中伐採は許可を得る事。) 8) 建築基準法およびその他の関係法令を遵守すること。
用途地域: 無指定	構造・規模: 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 平屋建て(準耐火建築物:ロー2)	
敷地面積: 10374.84m ² (S59年:信濃学園外構その他工事 設計図による)	最高高さ/最高軒高: 7,345 / 4,100 (南寮・北寮)	
防火地域: (22条指定区域)	既存機械設備: ・給排水 ・衛生 ・換気(ロスナイ) ・空調 ・LPG ・床暖房 ・ソーラー給湯設備 ・厨房設備一式	
定期報告: 2016、2019 実施済み	既存電気設備: ・一般照明 ・非常照明 ・弱電設備 ・放送設備 他	
指定建蔽率: 60% / 容積率: 200%	既存消防設備: ・スプリンクラー ・自動火災報知設備 ・誘導灯 ・消火器 ・非常放送	

工事概要 (擁壁・フェンス改修工事) 改修内容 キープラン

部位	撤去工事 (既存長さ/ 既存支柱本数)	改修工事	(改修長さ/ 新規支柱本数)
擁壁 (E-1)	・既存コンクリート製擁壁変形箇所(高低差1.2m 厚さ150mm) 解体、撤去、処分 ・擁壁解体に伴い、歩道アスファルト舗装(1.5m幅員)・緑石 撤去、処分	■新規プレキャスト擁壁 設置 (裏込め砕石、水抜き穴、埋戻し共) ■新規擁壁周りの歩道 復旧 (透水性アスファルト舗装、緑石共)	■新規擁壁: 22.0m ■新規AS: 40m ²
フェンス (スチール製)	(A-1) 乗入れスロープ(外側)フェンス: 撤去、処分・擁壁天端:RCカッター切断、はつり取り (5.20m/4本) (A-2) 乗入れスロープ(内側)フェンス: 既存のまま (横繋ぎ材カッター切断) ((4.50m/3本)残置) (B-1) 北側フェンス: 撤去、処分 (支柱埋込み部分:カッター切断) (18.50m/12本) (B-2) 北側フェンス: 撤去、処分 (支柱埋込み部分:カッター切断) (33.50m/22本) (C) 西側フェンス【公道に面した部分】: 既存のまま (横繋ぎ材カッター切断) ((40.50m/25本)残置) (D) 西側フェンス【私道(歩道)に面した部分】: 撤去、処分(※A)(支柱埋込部:カッター切断) (72.50m/43本) (E-1) 南側フェンス【既存擁壁変形部分】: 擁壁とともに撤去処分 (22.00m/13本) (E-2) 南側フェンス【既存擁壁部分】: 撤去、処分 (支柱埋込み部分:カッター切断) (13.00m/9本) (F) 園庭入口フェンス: フェンス扉とも撤去、処分 (7.50m/5本)	(A-1) ソフトコーンM(ベース無しタイプ)×5本 H=650 アンカー止め 新設 (A-2) 既存フェンス錆処理の上、DP塗装改修(※3) (B-1) ブロック基礎式(※1)フェンス新設、既存支柱撤去跡グラウト補修 (18.50m/10本) (B-2) アンカーバンド固定(※2)フェンス新設、既存支柱撤去跡グラウト補修(※4) (33.50m/18本) (C) 既存フェンス 錆処理の上、DP塗装改修(※3) (←) (D) アンカーバンド式フェンス新設、撤去跡グラウト補修(※4) (72.50m/40本) (E-1) アンカーバンド固定フェンス新設(新規PC擁壁面) (22.00m/12本) (E-2) アンカーバンド固定フェンス新設、既存支柱撤去跡グラウト補修(※3) (13.00m/8本) (F) 取り外し可能ワイヤメッシュフェンスH=1500 鞆管理め込み式(片持ち固定扉共) (図示による)	(ソフトコーン 5本) (←) (18.50m/10本) (33.50m/18本) (←) (72.50m/40本) (22.00m/12本) (13.00m/8本) (図示による)
植栽工事	① (B-1)に面する植栽帯部分: 既存キリシマツツジ 撤去(一部イチイ枝払い:6本) (22m ² 程度) ② (D)に面する植栽帯部分: 既存中木 枝払い (10本程度)	① (B-1)に面する植栽帯部分: キリシマツツジ 密植 (22m ² 程度) ---	(22m ² 程度)
補修工事	③ 既存擁壁 亀裂部分: 亀裂や一部剥離箇所などコンクリート劣化面の除去、清掃 (10箇所程度) ④ (E-1)歩道部分: 擁壁撤去部分の歩道アスファルト(φ50)及び緑石撤去、処分 (幅1.5m×26.0m) ⑤ 擁壁水抜き穴 不明部分: 擁壁面水抜き穴 調査 (30m程度)	③ 既存擁壁 亀裂部分: 亀裂幅1mm以上=エポキシ樹脂補修(Uカットシール) (L=300,10箇所程度) ④ (E-1)歩道部分: 擁壁築造後歩道復旧、浸透性アスファルト舗装φ50 (幅1.5m×26.0m) ⑤ 擁壁水抜き穴 欠落箇所: 既存擁壁面鉄筋調査後、水抜き穴(コア抜きφ50) (30÷@2m=15箇所)	
仮設工事 その他	仮設工事【1】: 擁壁改修工事部分、仮設ガードフェンス(H=1800)約45m 仮設工事【2】: フェンス改修工事部分(B-1、B-2部分) 単管バリケード 約55m 仮設工事【3】: フェンス改修工事部分(歩道入口)通行止め看板 及び仮設ガードフェンス(H=1800)×3か所	仮設工事【4】: 通行人に支障をきたす恐れある箇所はカーブーン、バリケードなど適宜設置のこと。 (交通誘導員も適宜配備のこと。2名×10日間程度) 仮設工事【5】(準備工事):園庭内の盛り土: 構内敷き均し(150m ³ 程度)、(切り枝・雑草等処分とも)	



現地:長野県松本市波田4417-8
 社会福祉法人 長野県社会福祉事業団
 福祉型障害児入所施設 信濃学園

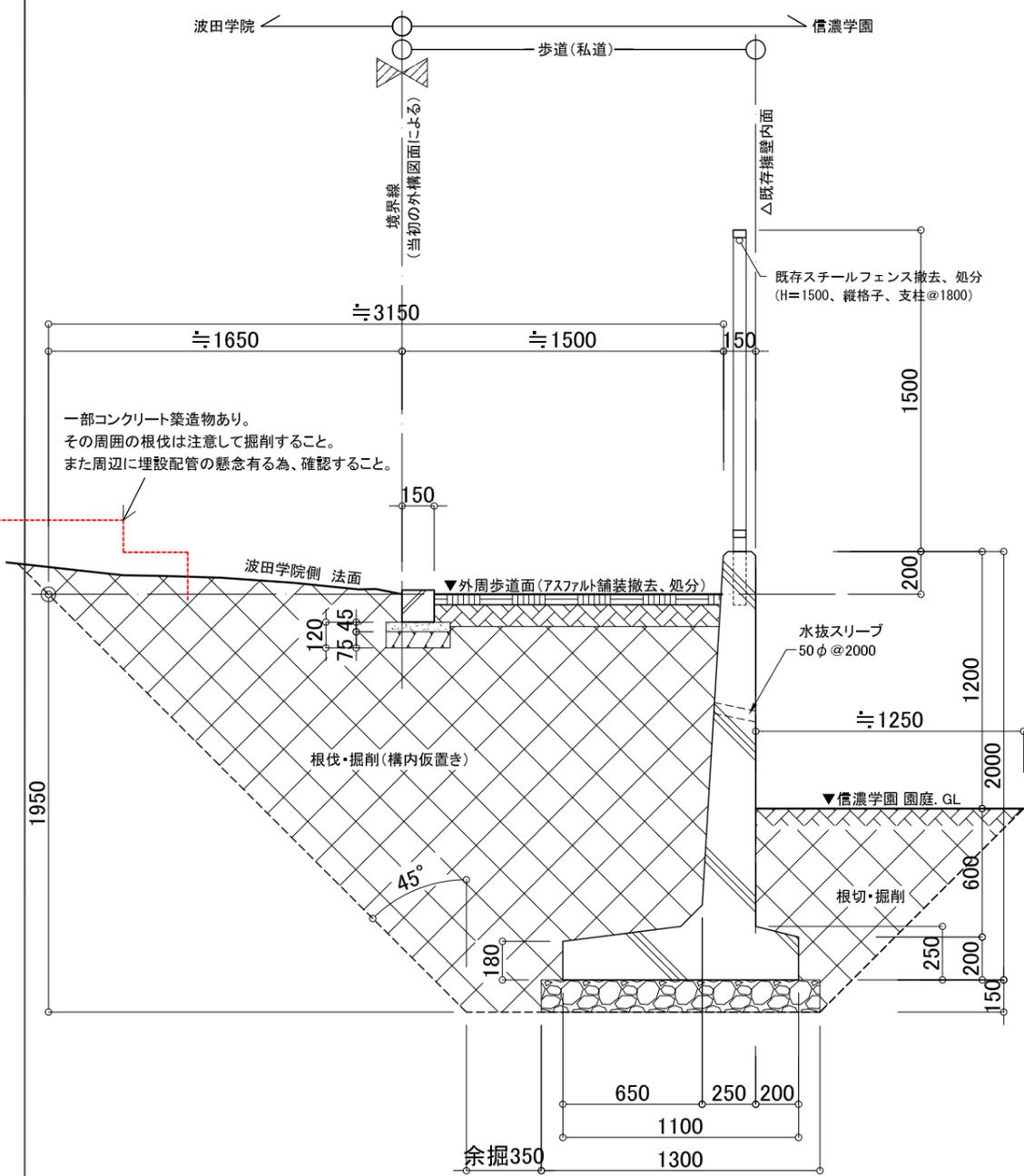


凡例

	既存建築物
	植栽帯
	改修フェンス
	改修PC擁壁部分

- 工事概要 一覧表 (詳細は別図参照)
- (A-1): フェンス撤去、塩ビ製ソフトコーン新設
 - (A-2): 既存フェンスのまま、DP塗装改修
 - (B-1): フェンス撤去、ブロック基礎式フェンス新設
 - (B-2): フェンス撤去、アンカーバンド固定フェンス新設
 - (C): 既存フェンスのまま、DP塗装改修
 - (D): フェンス撤去、アンカーバンド固定フェンス新設
 - (E-1): RC擁壁撤去、プレキャスト擁壁新設
フェンス撤去、アンカーバンド固定フェンス新設
 - (E-2): フェンス撤去、アンカーバンド固定フェンス新設
 - (F): フェンス撤去、取り外し可能ワイヤメッシュフェンス新設
- ①植栽工事: キリシマツツジ撤去、中木枝払い キリシマツツジ復旧
 ②植栽工事: 既存中木枝払い
 ③補修工事 部分: 既存擁壁 亀裂 エポキシ樹脂補修
 ④補修工事 部分: (E-1)面 歩道部分 縁石、アスファルト復旧
 ⑤補修工事 部分: 擁壁水抜き穴 φ50コア抜き
- 仮設工事【1】: 擁壁改修工事部分、仮設ガードフェンス(H=1.8m)
 仮設工事【2】: 公道沿いの歩道部分(B-1、B-2) 単管バリケード
 仮設工事【3】: (歩道入口:私道)通行止め看板 及び仮設ガードフェンス
 仮設工事【4】: カラーコーン、バリケードなど適宜設置(交通誘導員とも)
 仮設工事【5】: (準備工事)園庭内の盛り土 構内敷き均し(切り枝処分とも)

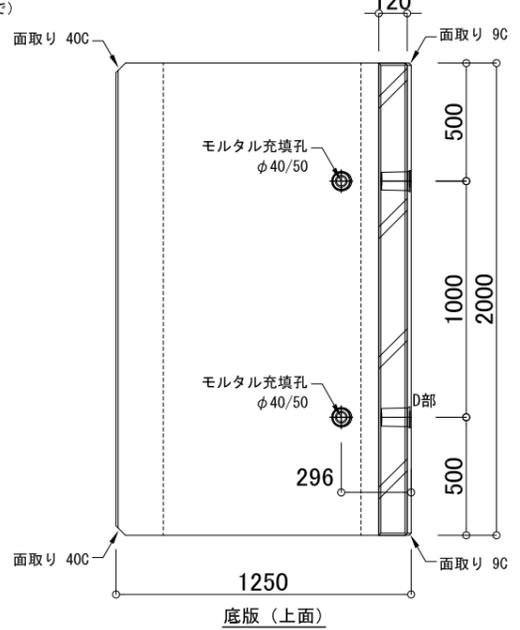
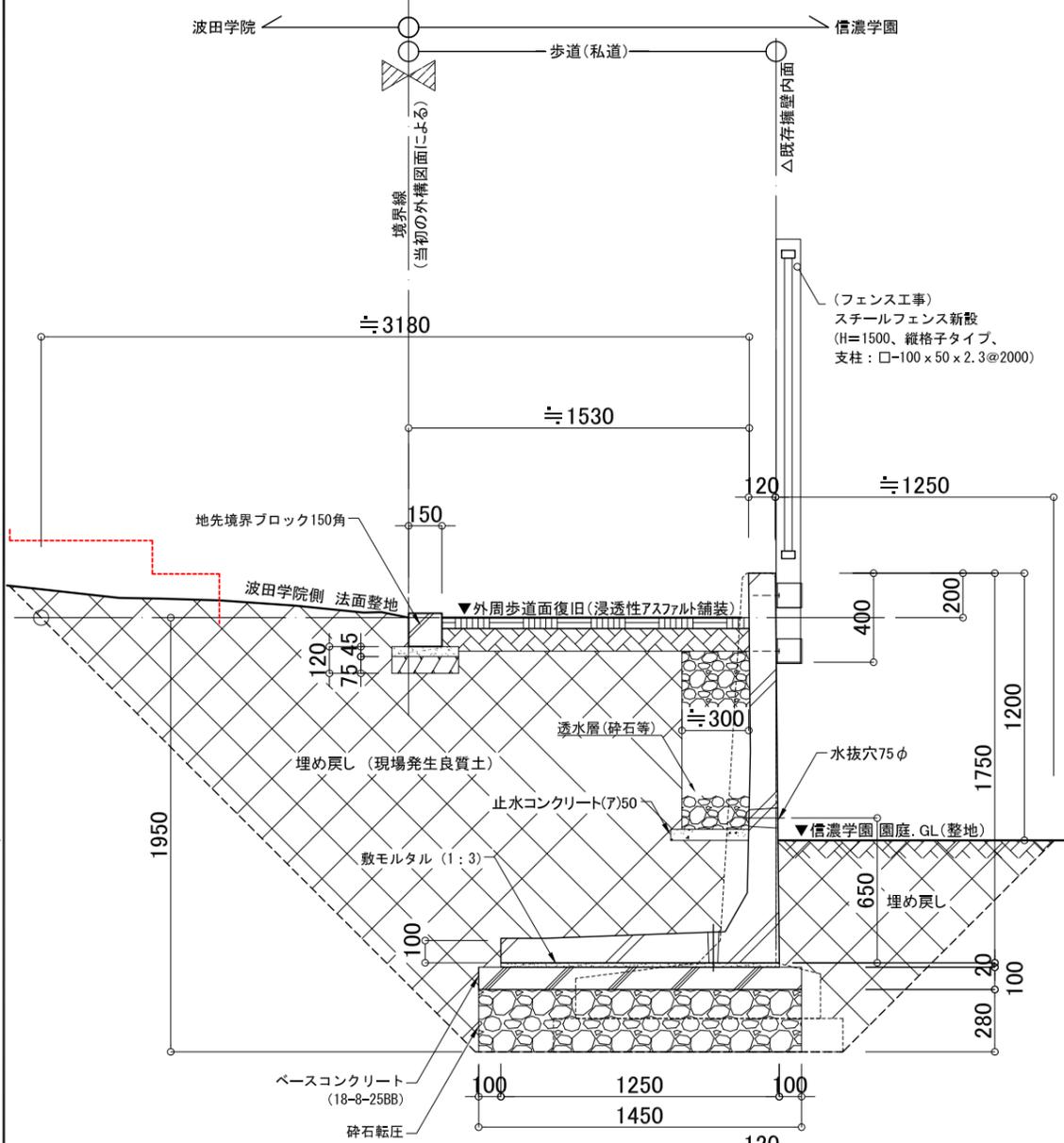
既存図(昔の設計図のトレース:裏込め透水層 表記無し) 全22m



(既存擁壁配筋)

	長辺	短辺
ベース上端筋:	D10@300	D10@300
ベース下端筋:	D10@300	D10@250
擁壁 縦筋:	D10@250(端部筋:1-D13)	
擁壁 横筋:	D10@300(天端筋:1-D13)	

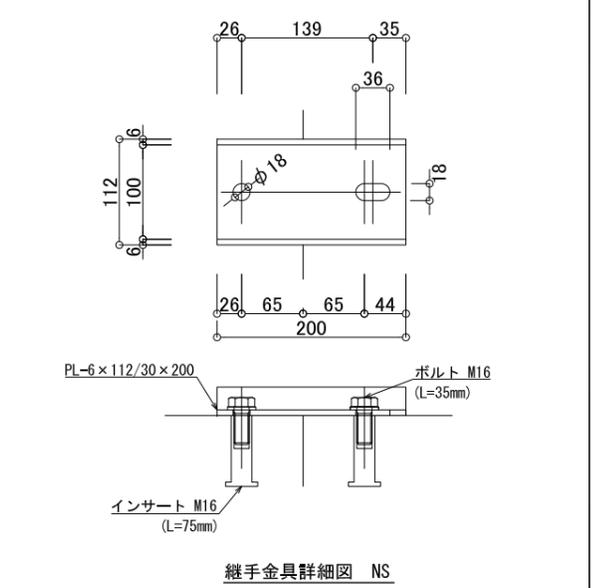
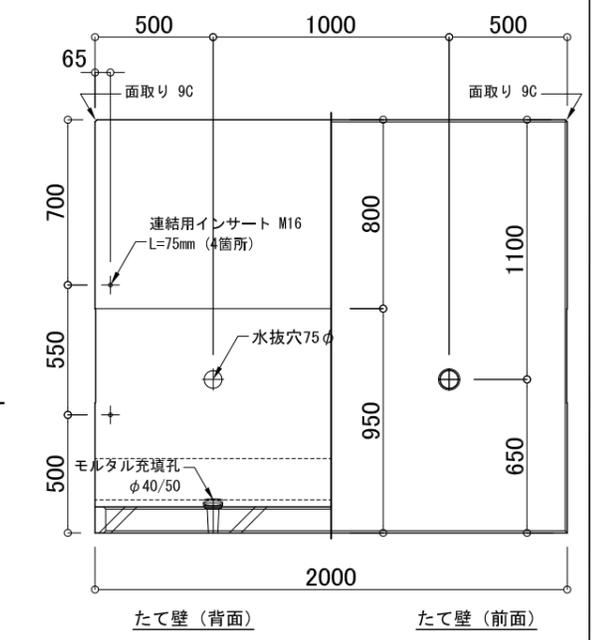
改修図(プレキャスト擁壁) 全22m

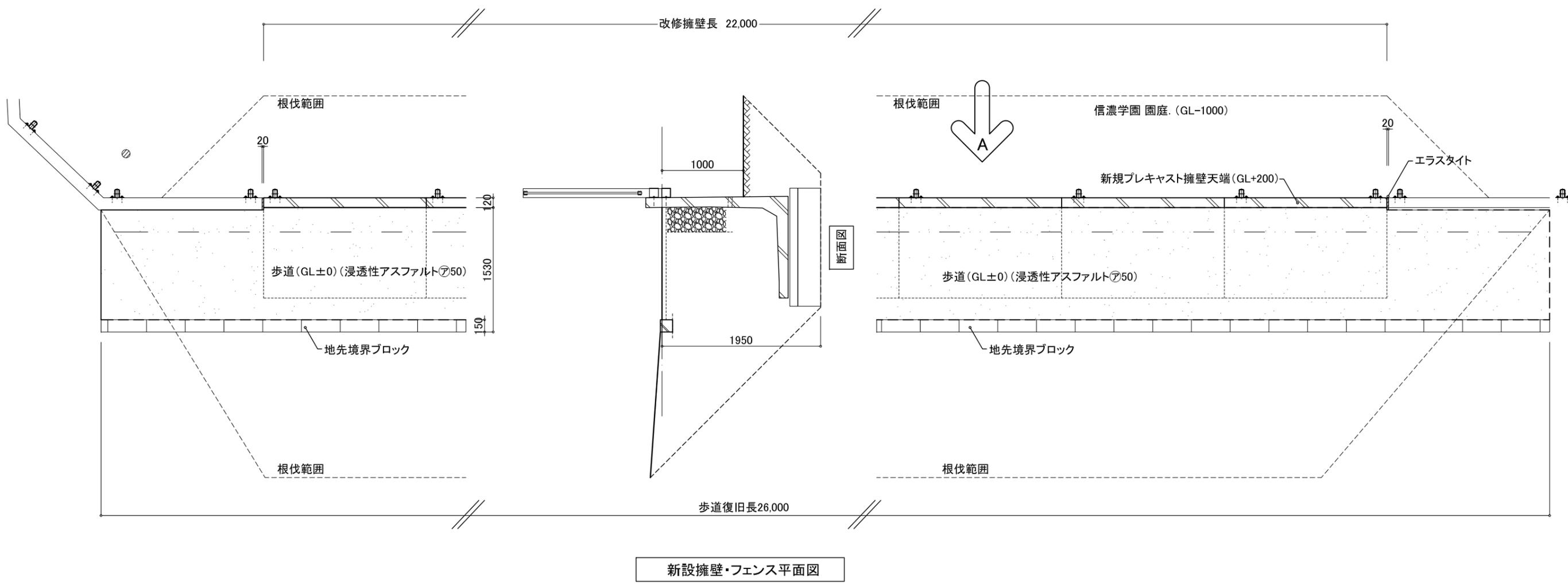
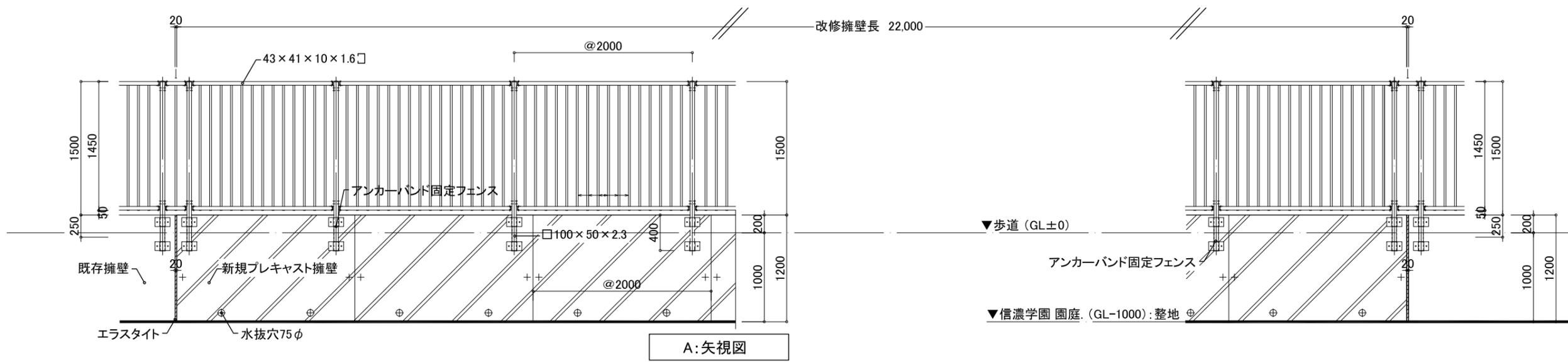


材料表

名称	規格	計算式	単位	1m当り数量	全22m数量
HDウォール	1750×1250	1÷2	枚	0.5	11
敷きモルタル	1:3	1×1.25×0.02	m ³	0.025	0.55
ベースコンクリート	18-8-25BB	1×1.45×0.1	m ³	0.145	3.19
型枠		1×0.1×2	m ²	0.2	4.4
砕石基礎 t=280	RC-40	1×1.45	m ²	1.45	31.9

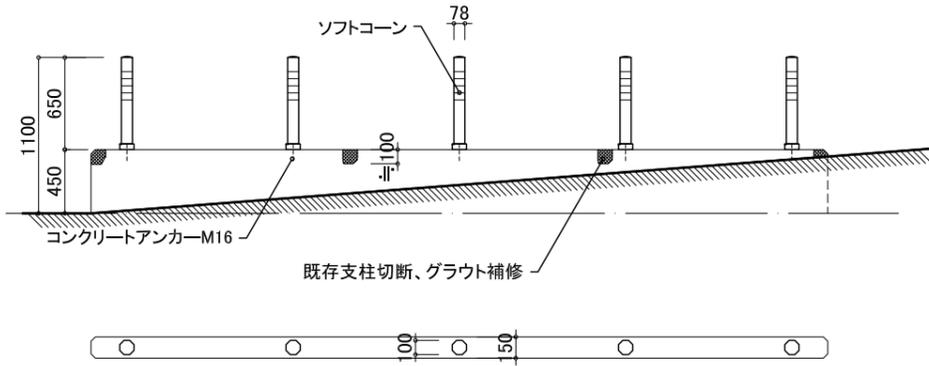
※ 擁壁背面には適切な排水工(透水層又は透水マット)を施すこと。
 ※ 既存擁壁との接合部(両端)にはエラストイト20mm設置のこと





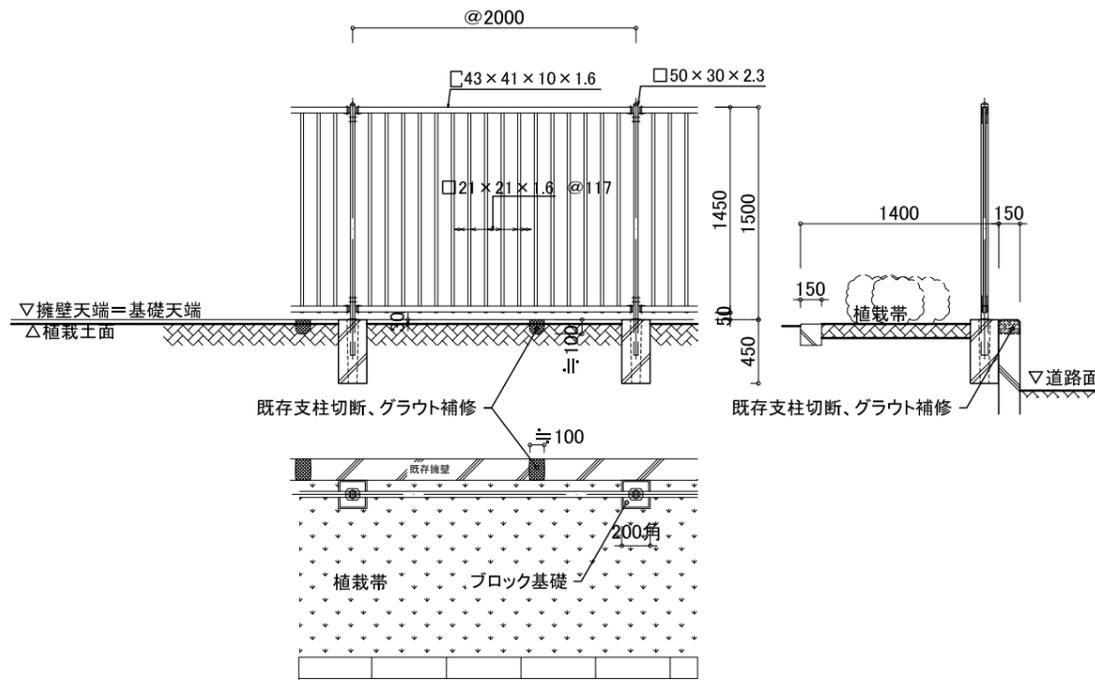
A-1: ソフトコーン

ポリウレタン製ソフトコーンM(ノンベースタイプ)同等品



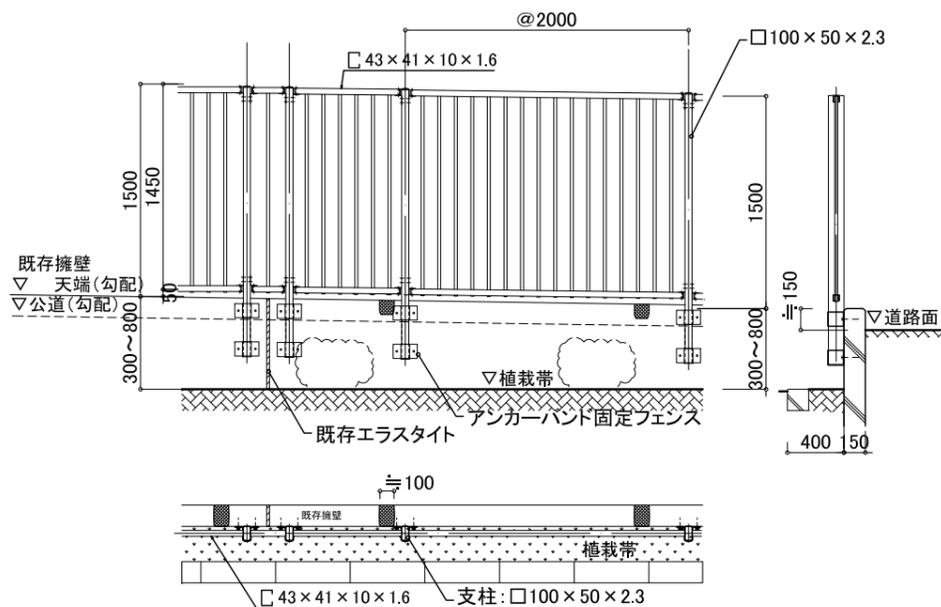
B-1: ブロック基礎式フェンス

朝日スチール工業(株)PS-FC1500(格子フェンス)同等品



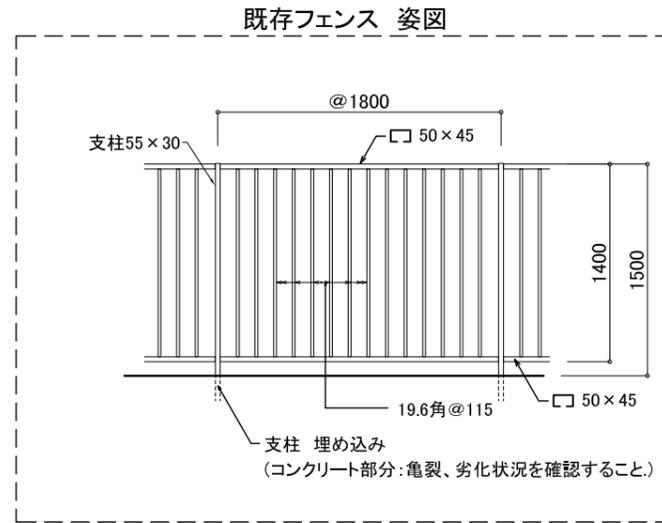
B-2: アンカーバンド固定フェンス

朝日スチール工業(株)PS-FC1500(格子フェンス)同等品



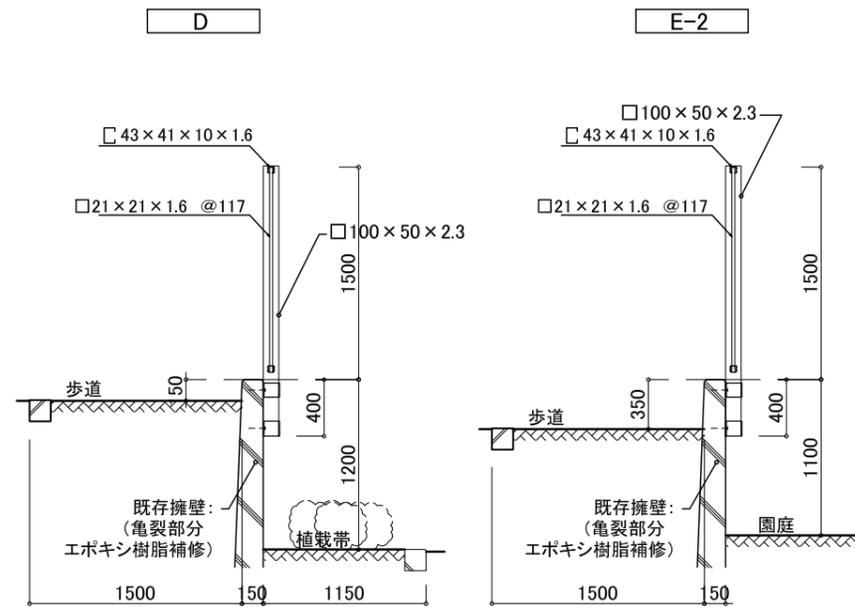
A-2・C: 既存フェンス 塗装

スチールフェンス DP塗装

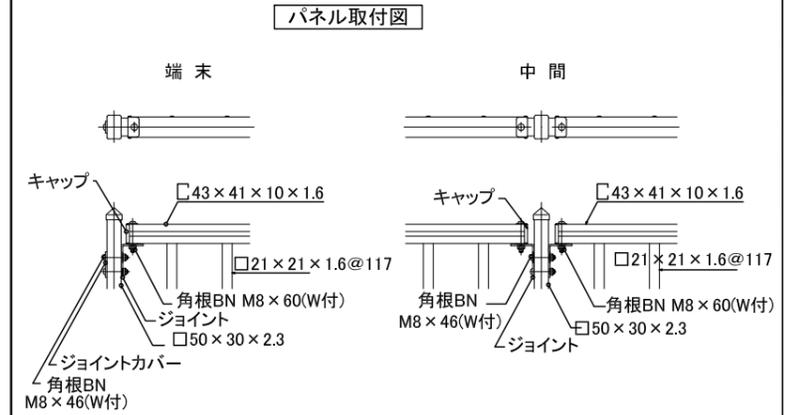


D・E-2: アンカーバンド固定フェンス

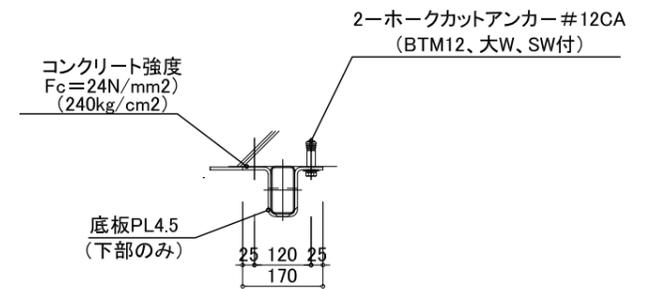
朝日スチール工業(株) (格子フェンス)同等品



スチールフェンス共通



アンカーバンド取付図



設計条件 (スチールフェンス共通)

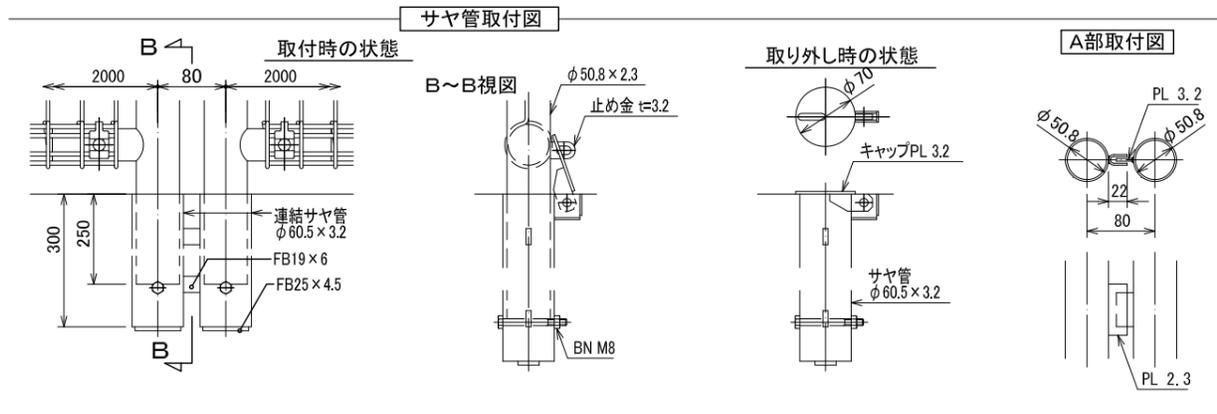
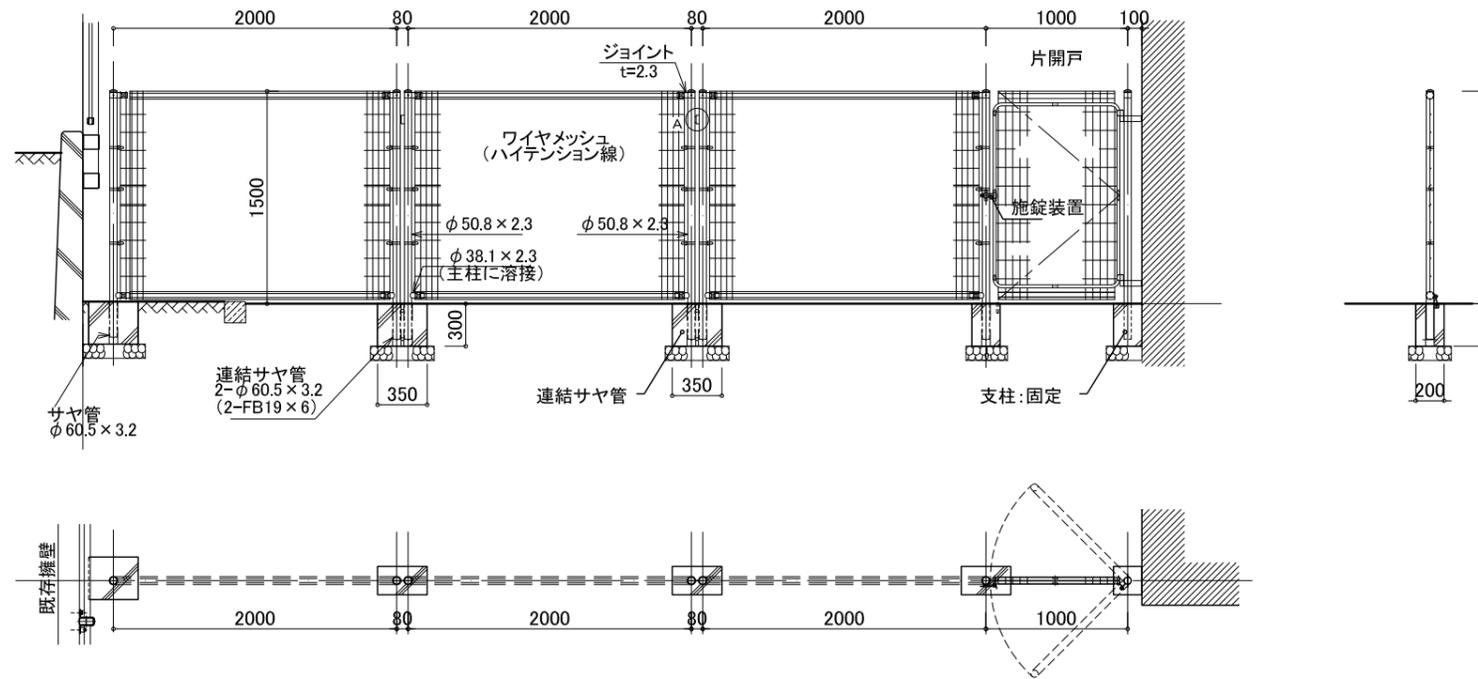
設計荷重...昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件...長期許容地耐力 98kN/m²(10t/m²)

備考

1. 外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装とする。但し、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とする。
2. 支柱取付バンドは溶融亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装、アンカーボルトは溶融亜鉛めっきのみとする。

F: 取り外し式メッシュフェンス

朝日スチール工業(株)UN-H1500-50(取り外し式)同等品



取り外しメッシュフェンス 設計条件・仕上

設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件・・・長期許容地耐力 98 kN/m² (10 t/m²)

備考

1. 外装について

- ・主柱・・・溶融亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
- ・ジョイント押え金具ワイヤメッシュ・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
- ・バンド・・・亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
- ・U型金具・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
- ・サヤ管及び付属品・・・溶融亜鉛めっきのみ
- ・ボルト、ナット・・・溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とし一部のボルト、ナットは溶融亜鉛めっきのみ

- 2. 本図取り外しフェンスは、構造上ガタツキはやむなし。
- 3. フェンス1ユニットの重量は約23kgとなる。
- 4. 本図取り外しフェンスは現地組立とする。